

平成28年度 片瀬・江の島まちづくり協議会準備会議事録

日 時：平成28年4月11日（月）午後7時40分～午後8時30分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委員21人（欠席3人）

事務局：9人

傍 聴：0人

〈配付資料〉

- 1) 平成28年度片瀬地区郷土づくり推進会議準備会・第1回役員会次第
- 2) 平成28年度片瀬市民センター・公民館職員名簿
- 3) 平成28年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）
- 4) 平成28年度所属部会についての意向調査票
- 5) 平成28年度片瀬・江の島まちづくり協議会各部会名及び各部会取扱いまちづくり事業

※準備会途中配布：平成28年度会長・副会長名簿（事務局案）

〈参考：役員会配付資料〉

- 1) 第1回まちづくり地区集会企画素案
- 2) 第1回まちづくり地区集会チラシ（案）
- 3) まちづくり通信第11号（平成26年4月25日）

1. 開会

- ・会長就任までの間、議事進行を暫定的に事務局が行った。

2. 委員自己紹介

- ・委嘱状の交付と同じ順番で、中川委員から時計回りで、地域団体選出委員は「出身母体」と「名前」、公募委員は「名前」と「応募動機」について、自己紹介をいただいた。
- ・委員の自己紹介の後、事務局（職員）が自己紹介を行った。順番は資料2）に記載されているとおり。

3. 平成28年度活動計画案について（構成部会・役員等組織体制の確認）

- ・資料3）について、金子センター長から説明され、平成28年度の活動計画について委員の承認を受けた。
- ・岡田委員から、各部会の内容について説明を求められたため、資料5）等をもとに各部会長から説明され、資料4）の意向調査についても、可能な限り2つ以上の部会に所属するよう、併せて事務局から依頼した。

4. 議題

ア. 役員の互選について

- ・副会長について、各部会長が副会長となり役員会で議論を行うことが協議会の運営にあたり効果的であることから、前期と同じく各部会長が副会長に就任することが承認された。

- ・会長について、前期と同じく自治町内会連絡協議会から選出されている長谷川紀夫氏が会長に就任することについて事務局から提案し、全会一致で承認され、長谷川氏も快諾されたことから、長谷川氏が会長となった。以降の議事進行については長谷川会長が行った。

No.	役 職	氏 名	選出母体等
1	会 長	長谷川 紀夫	片瀬地区自治町内会連絡協議会
2	副会長 人材・情報バンクセンター運営委員長	犬山 聡彦	公募
3	副会長 ボランティアセンター運営委員会会長	杉山 義子	片瀬地区社会福祉協議会
4	副会長 青少年健全育成部会長	波多 善子	片瀬地区青少年育成協力会
5	副会長 公民館活用部会長	田村 順子	片瀬公民館評議員会
6	副会長 まちづくり推進部会長	高木 誠四郎	片瀬地区防犯協会
7	副会長 郷土文化推進部会長	畠山 義昭	江の島振興連絡協議会
8	副会長 地域広報部会長	徳江 紀子	公募

イ. その他

- ・今後の日程について確認した。
 - 4月25日（月） 全体会
 - 5月 2日（月） 地区集会広報発行（広報ふじさわ5月10日号）
 - 9日（月） 役員会
 - 27日（金） 全体会
 - 6月 2日（木） 役員会
 - 3日（金） まちづくり通信発行（広報ふじさわ6月10日号）
 - ※この後の第1回役員会において5月25日号での配布に繰り上げることが確認された。
 - 11日（土） 地区集会

5. 閉会

準備会終了後、第1回役員会を実施した。

以 上

平成 28 年第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 4 月 25 日（月）

午後 6 時 30 分から 8 時 25 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委員 22 人（現在数 24 人。依藤委員, 岩田委員欠席）

事務局 7 人

傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 部会議事録
2. チラシ（3/18, 4/5, 4/20 回覧分）
3. 希望部会入り名簿
4. 平成 28 年度会議日程表
5. 地区集会企画（案）
6. 空き家対策基本方針
7. 地区集会開催チラシ（案）（全戸配布）
8. 地区集会開催ポスター（案）（掲示板貼付）
9. まちづくり通信第二十一号（案）（全戸配布）
10. 歓送迎会のご案内

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 27 年度第 12 回全体会について（3/15）
 - ① 議事録を配布し、全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）平成 28 年度準備会について（4/11）
 - ① 議事録を配布し、全体会の内容について振り返りを行った。
- （3）各部会からの報告
 - ① 人材・情報バンクセンター（JJBC）から、平成 28 年度第 1 回運営委員会の報告を行った。
 - ② 青少年健全育成部会から、平成 27 年度第 7 回部会の報告を行った。
- （4）各課題別検討ワーキングからの報告

- ① 環境 WG について、村越座長から 4 月に狂犬病予防接種会場において犬の散歩コース及びフンの放置アンケートの調査を行ったことを報告した。また、新任の会員のために、WG 結成の経緯、今後の目標（小冊子「片瀬版犬の飼い方」の作成・配布）について説明された。
- (5) 各地域団体等からの報告（トピック）
 - ① 片瀬一市民スポーツの会…4 月 29 日（金）にソフトボール大会を片瀬中学校で実施することを伝えた。
 - ② 片瀬地区生活環境協議会…4 月 16 日（土）に行われたクリーン活動の結果を報告した。
 - ③ JJBC…新しいコーディネーターがメンバーに入ったことを報告した。
- (6) その他

4. 議題

- (1) 平成 28 年度活動計画について
 - ア. 部会活動について
 - ① 各会員からの部会希望調査を行ったところ、希望部会の人数に偏りがあるため、人数調整を行った（結果は別紙 1 のとおり）。
 - イ. 全体活動年間スケジュールについて
 - ① 下記 2 件の会議日程が変更になることを確認した。
5 月役員会（5/9→5/16）、第 2 回地区集会（11/19→10/29）
- (2) 第 1 回地区集会について
 - ① 企画案について検討を行った。
 - 《第 1 部》
 - ・まちづくり協議会の組織について
→長谷川会長の挨拶に組み込み、一連の流れで話すこととなった。
 - ・活動計画について
→PowerPoint でスライドを作成し、各部会の活動内容や計画を説明する。
 - ・第 1 部全体について
→第 1 部の時間を長く取りたいので、第 1 部は 45 分程度で終わらせられるようにまとめる。事務局で案を作成し、役員会に諮る。
 - 《第 2 部》
 - ・住宅課空き家対策担当の説明について
→現在は 45 分となっているが、質疑応答が活発になることが予想されるので、住宅課の説明は 35 分、質疑応答の時間を 30 分としてほしい。
※質疑応答について、個別相談会にならないよう、ある程度軌道修正する質問を会員から出す必要があるかも、といった意見が出された。
 - ②チラシについて検討を行った。

- ・事前申込みの表現をもう少し柔らかくしてほしい。
- ・保育の申込みについて、もう少し目立たせてほしい。
- ・事前申込みの締切日を一日繰り上げれば、役員会の時に重なるのでは。
- ・申込書の年代記入欄について、10代を追加してほしい。

以上の意見が寄せられた。

(3) 第二十一号まちづくり通信について

(4) その他

5. その他

(1) 当面の日程

- ① 地区集会までの日程について確認し、5月27日(金)の全体会終了後には歓送迎会を開催することを周知、出欠確認用紙を配布した。

(2) その他

阿井委員から、青少年居場所事業について、これまでの経過を踏まえると、一定の課題も見えてきているのではないかと意見がだされた。

6. 閉会

以 上

平成 28 年第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 5 月 27 日（金）

午後 2 時 30 分から 4 時 30 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委員 19 人（現在数 24 人）

欠席 5 人（波多委員，齋藤委員，常泉委員，石倉委員，川嶋委員）

事務局 6 人

傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 1 回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（5/2，5/20 回覧分）
4. 全体会資料 平成 28 年度第 1 回地区集会企画（案）…別紙 1
5. 地区集会資料② 平成 28 年度第 1 回地区集会 次第…別紙 2
6. 地区集会資料③ 地区集会スライド（案）…別紙 3
7. 地区集会資料③ 平成 27 年度活動報告書（空き家対策検討ワーキング）…別紙 4
8. 藤沢市の空き家対策（住宅課作成）…別紙 5
9. 地区集会参加者アンケート…別紙 6
10. 片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表…別紙 7
11. 平成 28 年度スケジュール調整表…別紙 8

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）平成 28 年度第 1 回全体会について（4 / 25）

- ① 議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- ② 全体会第 1 回の際に，阿井委員から寄せられた「片瀬しおさいセンター」での，青少年居場所事業に関する意見については，役員会での議論の結果，青少年健全育成部会で検討していくことが事務局から報告され，確認された，

（2）各部会からの報告

- ① 人材・情報バンクセンター（JJBC）運営委員会から，平成 28 年度第 2

回運営委員会の報告を行った。

② 片瀬地区ボランティアセンター運営委員会から、平成28年度第1回運営委員会の報告を行った。

③ 青少年健全育成部会から、平成28年度第2回部会の報告を行った。

④ 公民館活用部会から、平成28年度第1回部会の報告を行った。

⑤ まちづくり推進部会から、平成28年度第1回部会の報告を行った。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

① 環境WGについて、村越座長から第1回会議の結果を報告した。

(4) 各地域団体等からの報告（トピック）

① 青少年育成協力会…デーキャンプについて材料費高騰の背景から、参加費が50円値上げされたことについて報告された。

② 片瀬地区生活環境協議会…5月29日にゴミゼロクリーンキャンペーンが片瀬海岸で行われることについて報告された。

③ 片瀬こどもらんど…こどもらんどまつりが5月29日に行われることについて報告された。

(5) その他

4. 議題

(1) 第1回地区集会について

① 事務局から、全体会・役員会で決められてきた地区集会全体の流れについて説明、確認した。

② 当日の会場レイアウトについて事務局から説明、確認した。

・会場後方のPRコーナーについては、積極的かつ有効に使うこと、といった意見が挙げられた。

③ 事前申込みの件数について、まだ1桁台であることが事務局から報告された。

④ 当日使用するスライドの内容について、確認を行った。

・出席者がスライドに載せられた文書を読み込んでしまうので、写真を大きくし、文書は事業名と写真の注釈程度にとどめておいた方がいい。

・目次1, 2は会長あいさつで会長が行う協議会の説明と重複するのではないか。→会長あいさつの内容を改めて、内容が重複しないように調整することとなった。

・事業に関して、JJBCの開所日等の情報や、決まっている事業の日程は入れた方がよい。

このような意見が挙げられた。次回役員会（6/2）に修正版を確認する。

(2) 平成29年度概算予算について

① 事務局から各事業の概要説明及び予算等の内訳、及び、スケジュールについ

て説明した。

(3) その他

- ① 次回の全体会（6／15）について、都市計画課から都市マスタープラン・立地適正化計画についての説明を、冒頭30分程度で行うことが事務局から報告された。
- ② 6／1から片瀬しおさいセンターでの夜間勤務が2名体制になることが事務局から報告された。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

- ① 6／2…第3回役員会
- ② 6／11…第1回地区集会
- ③ 6／15…第3回全体会

6. 閉会

※閉会后、午後5時45分から歓送迎会を行った。

以 上

平成 2 8 年第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2 0 1 6 年 6 月 1 5 日（水）

午後 6 時 3 0 分から 8 時 0 5 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委員 2 0 人（現在数 2 4 人）

欠席 4 人（依藤委員，村越委員，吉見委員，石倉委員）

事務局 5 人

傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 2 回全体会議事録
2. 部会議事録…資料 1
3. チラシ（6/3 回覧分）
4. 第 1 回地区集会議事録（案）…資料 2
5. 第 1 回地区集会アンケート結果…資料 3
6. 平成 2 7 年度 市民と市長の意見交換…資料 4
7. まちづくり協議会部会名簿…資料 5
8. まちづくり通信第 1 2 号
9. 平成 2 7 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集
- 1 0. 藤沢市都市マスタープラン（概要版・2 0 1 1 年 3 月改定）

1. 開会

2. 会長あいさつ

会長あいさつ後，都市計画課から立地適正化計画の策定及び都市マスタープランの改定についての説明と質疑応答，意見交換を行った。

《質疑》

- ・片瀬地区のまちづくりの進行管理の中に，江ノ電鵜沼駅のバリアフリー化を行ったとあるが，片瀬側はバリアフリー化されていないので，片瀬地区の実施事業として掲載するのはふさわしくないのではないかと。

→外すべきか検討したい。

- ・横浜藤沢線はどうなっているのか。境川の上に高架を作ると聞いているが，景観の問題が気になる。

→県と市で協議し，進めていく。県も進める計画になっている。

- ・横浜藤沢線について，住民の意見を踏まえて計画が廃止になる可能性もあるのか。

- 既に計画されている事業なので、基本的には作られるが、それは全てではない。
- ・都市マスタープランの改定について、横断的な調整はどのようになっているのか。
- 様々な部署が関わるので、一概にはお答えできないが、部内調整等、必要な調整は行っていく。
- ・片瀬地区の道路に関する課題として、道が狭く、その道を裏道として使われ、交通量が増え、危険性も増している。
- 道路整備を進める場合は地域住民の声を聞きながら行っていきたい。
- ・江の島のバリアフリー化について、どのように進めていくのか。
- 江の島地区周辺整備担当が行っている。
- ・地区ごとの構想はこれから示されるのか。
- 今年10月にお示しする。
- ・これから計画される事業はいつ頃、どのように情報提供されるのか。
- それぞれの事業の進捗によるので、具体的にお示しすることはできないが、パブリックコメントを実施する事業もあるので、藤沢市のホームページ・広報等に注視していただきたい。

3. 報告

- (1) 平成28年度第2回全体会（5/27）について
 - ① 議事録を配布し、全体会の内容について振り返りを行った。
- (2) 各部会からの報告
 - ① 郷土文化推進部会から第1回部会の報告を行った。

《質疑》

 - ・平成27年度第2回目の地区集会の際、郷土魅力の活用について、郷土文化推進部会で取り扱うことが、27年度最後の会議で確認されたはずだが、その件について検討しているか。

→郷土魅力について、協議会で課題として検討していくことは確認されているが、具体的にどの部会で扱うか、についてまでは確認していない。

次回役員会で協議する。
- (3) 各課題別検討ワーキングからの報告
 - ① 報告無し。
- (4) 各地域団体等からの報告（トピック）
 - ① 民生委員児童委員協議会…65歳以上夫婦の安否確認、独居世帯の聞き取り、80、90、100歳の方の誕生日確認等を行っていることが報告された。
 - ② 片瀬一市民スポーツの会…7、8月にプール開放、8月7日にカップまつりが行われることが報告された。

(5) その他

- ① 上記、都市計画課との協議内容のとおり。

4. 議題

(1) 第1回地区集会について

- ① 議事録（案）及びアンケート結果を委員に見せ、当日の経過や質疑内容について確認し、振り返りを行った。詳細な議事録については、速記録の納品待ちとなり、次回全体会をもって、議事録が完成することを伝えた。
- ② 委員からの当日の振り返り
- ・空き家について、法律や制度のことも含めて詳しく知ることができた。質疑についても建設的な意見が多かった。
 - ・行政の説明会のようになっていた。
→地区集会にはそれぞれに性質があるので、今回のテーマに関しては今まで協議会として空き家問題に取り組んでいたこともあり、経過を踏まえると、テーマ・内容については適切であったと思う。
 - ・参加者にはそれぞれの価値観や抱えている問題があるので、感想が分かれるのは仕方が無いことだと思う。特に利活用の面ではおそらく期待値が高かった分、内容に物足りなさを感じたのでは無いか。
 - ・片瀬山・江の島のような地域に特化した密度の濃い議論ができれば理想的と思う。
 - ・事前に「地区集会でここに触れてほしい」というような意見が集められれば、より住民視点での地区集会ができると思う。
 - ・空き家に関してはまだ組織だってから日が浅いが、それでもよく説明していたと思う。

(2) 第2回地区集会について

- ① 6月2日に役員会で諮ったとおり、10月29日の地区集会では市長との意見交換会を実施することを確認した。

(3) まちづくり通信（第22号）について

- ① 広報7月25日号で全戸配布することを確認し、内容は第1地区集会の報告号とすることとした。詳細については地域広報部会で詰め、一度は委員全員に確認する機会を設ける。

(4) その他

- ① 部会名簿（暫定版）について確認した。
- 「～委員」「～協力員」等は読みづらくなるので削除する。
 - 協力員の部分で一部修正の要望が寄せられた。
 - 各部会の担当職員名を入れる。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

- ① 7/5…第4回役員会
- ② 7/26…第4回全体会

6. 閉会

以 上

平成 28 年第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 7 月 26 日（火）

午後 6 時 30 分から 8 時 15 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 22 人（現在数 24 人）
欠席 2 人（依藤委員，福島委員）
事務局 5 人
傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 3 回全体会議事録
2. 第 1 回地区集会開催結果概要
3. 部会議事録
4. チラシ（6/20，7/5，7/20 回覧分）
5. まちづくり通信発行について（第 23 号発行企画）…資料 1
6. 市政運営の総合指針 2016 の改定について…資料 2
7. 地域まちづくり事業 評価・見直しシート…資料 3
8. 平成 28 年度第 2 回地区集会 実施企画（案）…資料 4
9. まちづくり協議会 部会名簿
10. まちづくり協議会 平成 28 年度スケジュール

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 28 年度第 3 回全体会（6/15）について

①議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。

- （2）各部会からの報告

①人材・情報バンクセンター運営委員会，青少年健全育成部会，公民館活用部会，まちづくり推進部会，郷土文化推進部会，地域広報部会の報告を行った。

《質疑》

- ・青少年健全育成部会の居場所事業について，4 月 25 日の全体会で申し上げたとおり，行う意義自体が無いのではないかと，また，居場所事業の今後について，全体会で検討せずに，部会で検討するのはなぜか。しおさいせ

ンターという場所に活動を限らず、街に出て活動する等して、より具体的でせっぱ詰まった問題を解決するべきでは（阿井委員）。

→事業の検討については、実際に事業を行っている青少年健全育成部会が一義的に行うものとする（事務局）。

→貴重な問題提起として受け止めたい（長谷川会長）。

（３） 各課題別検討ワーキングからの報告

①環境ワーキングについて、村越座長から第２回ワーキングの結果について報告した。

（４） 各地域団体等からの報告（トピック）

①敬老会は９月８日（木）（常泉委員）

（５） その他

①特記事項無し

４．議題

（１） 第１回地区集会について

①第１回地区集会開催結果概要について事務局から説明し、内容を確認した。

（２） まちづくり通信について

①資料１のとおり、まちづくり通信の今後の発行スケジュールについて、第２３号の発行スケジュールについて事務局から説明し、内容を確認した。

（３） 市政運営の総合指針改定に伴う地域まちづくり事業の見直しについて

①資料２のとおり、総合指針２０１６の改定について内容を確認した後、資料３のとおり、現在部会において確認済みの評価・見直しシートについて確認を行った。次回全体会（８／１７）までに他の部会でも評価・見直しシートの確認を行い、全体会において諮る。

（４） 第２回地区集会について

①資料４のとおり企画案を確認し、全体について確認した。

《意見》

・グループトークについて、参加人数も多く、盛り上がるのはいいことだが、人数がかえって多くなり、席に座れない人や、理事者までも座れない状態になっていたため、今回は工夫が必要（石倉委員）。

・前回のグループトークではコーヒーを配ったが、今回はやめてほしい。コーヒーを配ることに精一杯になってしまい、人数も多いことからコーヒーが行き渡らないことがあった（石倉委員）。

→今回はコーヒーを配らない。

（５） その他

①部会名簿について確認した。

②ふれあいまつりについて、出展希望を募った（回答待ち）。環境ワーキンググループについては、張り紙を配る予定。

③郷土魅力継承課題については、現在、事務局で取り扱いを整理中。改めて委員に諮ることにする。

5. その他

（1） 当面の日程

当面の日程を確認した。

第5回役員会 8月1日、第5回全体会 8月17日

6. 閉会

以 上

平成 28 年第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 8 月 17 日（水）

午後 6 時 30 分から 8 時 00 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 14 人（現在数 24 人）

欠席 10 人（波多委員，依藤委員，齋藤委員，石倉委員，
川嶋委員，福島委員，吉見委員，村越委員，
長坂委員，岩田委員）

事務局 7 人

傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 4 回全体会議事録
2. 平成 28 年度第 2 回地区集会 実施企画（案）
3. 第 2 回地区集会チラシ（案）
4. 部会議事録
5. チラシ（8/5 回覧分）
6. 第 2 改築集会進行表・会場図…資料 1
7. 片瀬小学校児童・保護者アンケート結果…資料 2
8. 地域まちづくり事業 評価・見直しシート…資料 3
9. まちづくり通信第 23 号（案）…資料 4
10. 郷土魅力等継承課題の整理資料…資料 5
11. 空き家に関する相談窓口のご案内（住宅課資料）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 28 年度第 4 回全体会（7/26）について
①議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
①人材・情報バンクセンター運営委員会，青少年健全育成部会（龍の口竹灯籠の報告含む），地域広報部会の報告を行った。
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告

- ①環境ワーキングについて、事務局から第3回ワーキングの結果について報告した。
- (4) 各地域団体等からの報告（トピック）
 - ①敬老会の参加予定人数は253人（他付き添い8人）（常泉委員）
- (5) その他
 - ①特記事項無し

4. 議題

- (1) 第2回地区集会について
 - ①事務局から、実施企画（案）について、前回全体会からの変更点を中心に説明した。
 - ②地区集会のチラシについて、現行案について検討した。「片瀬小学校生徒」の部分は「片瀬小学校児童」とした方が良いとの意見あり（長坂委員）。
 - ③進行表について確認し、役割分担について、総合司会は徳江副会長が行い、「地域の取り組み紹介」のナレーション担当については青少年健全育成部会の中で検討することとした。
 - ④グループトーク中、各班に3～4人ずつ委員が座るが、割り振りは事務局一任とすることを確認した。なお、各班の進行、書記は青少年健全育成部会を中心に担当を検討する。
- 《質疑》
- ・理事者等が各班を回るときに今まで行っていた話題を続けるべきなのか、それとも話題を理事者向けに切り替えた方が良いのか（徳江副会長）。
→基本的にそこまで配慮する必要は無いと思うが、青少年健全育成部会でそのあたりの進行については確認してもらう。
 - ・理事者等が席にいらなくても、トーク中に行政に関する質問が出たときに答えられるよう、担当各課の職員がついてほしい。また、担当各課の職員が足りない時はセンターの職員でも構わないので入ってほしい（犬山副会長）。
→担当各課からの職員派遣について検討したい。
 - ・理事者等は巡回せず、一つの班に張り付いていた方が良い議論ができるのでは？巡回しない班が出ても仕方ないと思う（島田委員）。
→参加者はグループを選べないし、理事者等にとっても住民から幅広い意見を聞ける良い機会だから巡回制が良いと思う。
 - ・青少協の代表者会で、進行・書記の割り振りを検討するが、内容によっては進行方法を変えてもらいたい（犬山副会長）。
- ⑤会場図について確認を行い、承認を得た。
 - ⑥資料2のとおり、青少年健全育成部会で行った片瀬小学校児童・保護者アン

ケートの結果について、事務局から速報値を報告した。

(2) 市政運営の総合指針改定に伴う地域まちづくり事業の見直しについて

- ①資料3のとおり、現在各部会において確認済みの評価・見直しシートについて確認を行い、承認された。残りは2事業（片瀬地区人材・情報バンクセンター事業、青少年居場所事業）。

(3) まちづくり通信第23号について

- ①資料4のとおり、各団体の事務局が作成した原稿を確認した。残りは2団体（自治連、自主防）。

(4) 地域課題について

- ①資料5、郷土魅力等継承課題の整理資料のとおり、次回の郷土文化推進部会において同部会が課題の方向性を検討することについて事務局から報告した。

(5) その他

- ①住宅課の資料で、「空き家に関する相談窓口のご案内」があることを事務局から情報提供した。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

第6回役員会 9月2日、第5回全体会 9月16日

6. 閉会

以 上

平成 28 年第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 9 月 16 日（金）

午後 6 時 30 分から 8 時 00 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 18 人（現在数 24 人）

欠席 6 人（犬山委員，岩田委員，川嶋委員，波多委員，
畠山委員，依藤委員）

事務局 6 人

傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 5 回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（8/25，9/10 回覧分，東り町こどもまつり）
4. 第 2 回地区集会チラシ
5. 平成 28 年度第 2 回地区集会 実施企画（案）…資料 1
6. まちづくり通信第 23 号（案）
7. 地域まちづくり事業 評価・見直しシート…資料 2

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 28 年度第 5 回全体会（8/17）について
①議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
①人材・情報バンクセンター運営委員会，青少年健全育成部会（夏休みふれあい事業の報告含む），公民館活用部会，まちづくり推進部会，郷土文化推進部会，の報告を行った。
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告
①環境ワーキングについて，村越座長から活動報告が行われた。
- （4）各地域団体等からの報告（トピック）
①民生委員児童委員協議会→敬老会中止の報告の他，家具転倒防止アンケート

を実施している。

②子ども会連絡会→東り町こどもまつりが9月22日に行われる。

③市民スポーツの会→10月10日に地区レクリエーション大会が開催される。

(5) その他

①特記事項無し

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

①全戸配布するチラシの確認を行った。

②資料1の実施企画案を基に検討を行った。

③グルーブトークについては、青少協の打ち合わせの中で市長等理事者3チームの動き方に提案があり、3チームとも10分おきに全部の班を廻る従来の方式から、各チーム前後半30分ごとに1班ずつ回る方法（各チーム2班回る）に変更することを確認した。

④前回の全体会では各委員は班の議論に加わりサポート役に回る予定であったが、現時点では参加人数が読めないことから、1グループの人数が多くなることを避けるため、青少年健全育成部会のメンバーのみトークに入ることを確認した。

《質疑》

・一般参加者はどのようにグループ分けする？

→申し込み時点で事務局が希望を聞き、グループ分けする。当日参加者はその場で決める。

・各課担当職員の出席は？

→基本的に課長のみの出席となった。

・片瀬小学校の校長先生はどのような立場（参加者側 or 理事者側）で参加する？

→基本的に参加者側だが、内容によっては理事者側（回答する立場）に立つ。

⑤10月3日に参加要請団体参加者のグループ分け及び進行、役割分担等の打ち合わせを行うことを確認した。

(3) まちづくり通信第23号について

①印刷所が作成した校正原稿を確認し、修正等が入る場合は9月20日まで意見を挙げることにした。

・自治連だより→今年度号に差し替える

・わくわく子ども天国→説明文の字間が詰まっているので、広げる

(4) 地域課題について

①郷土文化推進部会での協議結果及び、それを受けて役員会で協議した結果、長谷川会長から各部会1～2名ずつ委員を出してもらい、ワーキンググルー

プの立ち上げ提案があった。次回の全体会（１０／１４）までに各部会で決めて報告する。

（５）その他

「片瀬地区人材・情報バンクセンター事業」の地域まちづくり事業 評価・見直しシートを確認した。特に意見は挙げられなかった。

５．その他

（１）当面の日程

当面の日程を確認した。

第７回役員会 １０月４日，第７回全体会 １０月１４日

第２回地区集会 １０月２９日

６．閉会

以 上

平成 28 年第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 10 月 14 日（金）

午後 6 時 30 分から 8 時 30 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 19 人（現在数 24 人）

欠席 5 人（石倉委員，岩田委員，徳江委員，中川委員，依藤委員）

事務局 7 人

傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 6 回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（9/20，10/5 回覧分，ハロウィン行事）
4. 平成 28 年度第 2 回地区集会 実施企画（案）…資料 1
5. 第 2 回地区集会 次第・アンケート
6. 第 2 回地区集会 スライド
7. 片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表
8. 青少年居場所事業関連スライド
9. 阿井委員から提出された疑問（要旨）
10. 地域まちづくり事業 評価・見直しシート（青少年居場所事業）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 28 年度第 6 回全体会（9 / 16）について
 - ①議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
 - ①人材・情報バンクセンター運営委員会，青少年健全育成部会，まちづくり推進部会の報告を行った。
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告
 - ①環境ワーキングについて，村越座長から活動報告が行われた。
- （4）各地域団体等からの報告（トピック）
 - ①子ども会連絡会→ハロウィン関連の行事について説明があった（長坂委員）

(5) その他

①特記事項無し

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料1を基に、地区集会の進行・詳細等について確認した。

当日のスライドを提示し、委員による確認を行った。

(2) 地域まちづくり事業の平成29年度予算について

まちづくり事業費の来年度予算案について、各部会及び役員会での検討を踏まえた内容を事務局から説明した。

生活道路の安全向上対策事業については、これまで通学路を中心としてグリーンベルトの設置を行ってきたがほぼ整備が完了したため、今年度でまちづくり事業としては終了する予定であり、来年度予算は要求しないこととした。今後、同様の要望等がある場合は、本庁の予算で対応していくこととした。

また、小学生夏休みふれあい事業については、事業内容の見直しを図るため、まちづくり事業としては位置づけるものの予算は要求しないこととした。今後の見直しの結果、試行等具体化し来年度に予算が必要な場合には郷土づくり推進会議費を充てていくこととした。

なお、民俗文化財等継承事業については、これまで予算を計上してこなかったが、片瀬こまについて大会等での体験用のこまを補充していくため予算を要求していくこととした。

《質疑》

・生活道路の安全向上対策事業で貼り付けた啓発シールについて、電柱からはがれたり薄くなってしまったシールの貼り直しはできるか

→東京電力等、設置者は原則として許可していない。路面シール等で対応することになる。

(3) 地域課題について

地域課題を検討するワーキングの部会員選出について、各部会から報告。

人材・情報バンクセンター運営委員会 中川委員

ボランティアセンター運営委員会 田村委員

青少年健全育成部会 石倉委員

公民館活用部会 岡田委員

まちづくり推進部会 高木委員

郷土文化推進部会 阿井委員、常泉委員、金子協力員

地域広報部会 川嶋委員

以上9名が選出された。第1回のワーキング日程については、地区集会終了後、

別途調整する。

(4) 青少年健全育成部会での検討について

犬山委員からスライドを基に青少年居場所事業についての説明が行われ、青少年健全育成部会で検討した結果、今後も同事業については継続する計画となったことについて報告があった。

《質疑意見等概要》

＜阿井委員＞

- ・説明のあった「事業の目的」は教科書に書かれているような一般論であり、片瀬地区の青少年の実態や現実の問題を反映したものとはいえないので「地域の事業」としてふさわしくない。青少年についての問題は、地域、家庭、学校、行政などと協議すべきものとする。

- ・事業開始以来、地域、家庭、学校、行政などと何らの接触、連携もなく、情報共有さえサポーターガイドラインで禁じているのはおかしいと考える。

- ・昼間、ふれあいルームに集まる中高生へは対応がなく、居場所事業実施時との待遇の違いに疑問を感じる。

- ・サポーターガイドラインに、青少年との接触時はニックネームでお互いを呼び合うことを求め、青少年の個人情報を受け取らないと定められているが、これで本当にコミュニケーションがとれるのか疑問である。また、仮に相談を持ちかけられたときに専門家でもないのに対応できるのか。

- ・今後、サポーターの方をはじめ関係者に私の主張をご説明したいので、部会に呼んでもらいたい。

＜犬山委員＞

- ・けして一般論ではなく、夜間にふれあいルームへ集う青少年がいる事実は紛れもなくあり、その中でボランティア活動の範疇でできることは何か、というところからこの事業は始まっている。

- ・サポーターガイドラインは青少年課と共同で検討し設定したもの。青少年から対応が難しい相談を持ちかけられることがあれば、カウンセラーとも一緒に相談・対応できる環境にある。

＜田中委員＞

- ・ニックネームが問題ならば、ガイドラインから削除すればいいのではないか。

- ・確かに、子ども同士は名字ではなく下の名前やニックネームで呼び合うことが多いようだ。

＜島田委員＞

- ・今までこの事業に取り組んできた方々には頭が下がる思いだ。今、この場でおいそれと結論を出せるものではないので、課題は課題として受け止め、事業は続けてほしい。

＜常泉委員＞

- ・事業を行う場所を変えれば、こういった問題は起きないのではないか。

＜川嶋委員＞

- ・ニックネームを個人情報を出さずに済むツールと考えれば、その分悩みを打ち明けやすくなると思うし、コミュニケーションをとるうえでニックネームはおかしいという指摘は時代遅れと感じる。また、公民館は青少年教育の場の一つでもあることも踏まえて考えていけば、この事業をここで行うことは適切だと思う。

＜長谷川会長＞

- ・青少年が抱える問題を解決できる特効薬は無い。今回、阿井委員が貴重な提言をされたように、課題は一つひとつできることから着実に解決していこう。

(5) その他

地域まちづくり事業の評価・見直しシートのうち、青少年居場所事業について確認を行った。

第3回の地区集会について、今後、テーマ決めを行っていく旨を頭出しした。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

第2回地区集会 10月29日

第8回役員会 11月1日、第8回全体会 11月14日

6. 閉会

以 上

平成 2 8 年第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2 0 1 6 年 1 1 月 1 4 日 (月)

午後 6 時 3 0 分から 8 時 3 0 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 1 8 人 (現在数 2 4 人)

欠席 6 人 (畠山委員, 常泉委員, 岩田委員,
依藤委員, 川嶋委員, 福島委員)

事務局 5 人

傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 7 回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ (10/20, 11/4 回覧分)
4. 藤沢市都市マスタープラン (地区別構想) の改定について
5. 第 2 回地区集会議事録 (案)
6. 第 2 回地区集会参加者アンケート結果 (速報値)
7. まちづくり通信第 2 4 号 (案)
8. 平成 2 8 ～ 2 9 年度事務スケジュール調整表
9. 忘年会について (ご案内)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成 2 8 年度第 7 回全体会 (1 0 / 1 4) について
 - ①議事録を配布し, 全体会の内容について振り返りを行った。
- (2) 各部会からの報告
 - ①人材・情報バンクセンター運営委員会 (口頭), ボランティアセンター運営委員会 (口頭), 青少年健全育成部会, 公民館活用部会, まちづくり推進部会, 郷土文化推進部会, の報告を行った。
〈犬山委員〉出席者が少ない部会が見受けられるので, 出席者の調整を行ってほしい。
- (3) 各課題別検討ワーキングからの報告

- ①環境ワーキングについて、村越座長から活動報告が行われた。作成中の冊子についてご意見があれば事務局に伝えてほしい、とのこと。
- (4) 各地域団体等からの報告（トピック）
- (5) その他
 - ①特記事項無し

4. 議題

- (1) 都市マスタープラン（地区別構想）の改定について【都市計画課】
都市計画課の職員が出席し、第3回全体会（6月）で委員から受けた改定案への意見について、修正案を提示し、意見交換を行った。
〈石倉委員〉県道横浜藤沢線について、オリンピックまでに間に合うのか。
→オリンピックを目標として整備していないので、完成は難しい。
〈岡田委員〉津波の想定について、レベル2の段階の復興計画を立ててほしい。
ゲリラ豪雨等、近年顕著な災害への対策も盛り込んでほしい。
→ご意見として受け止めたい。
〈田村委員〉現在の緊急避難場所意外にも避難所の整備を進めてほしい。
〈長坂委員〉津波時には、観光客が含まれていることも考慮に入れてほしい。
→避難ビルは増やしているところであり、復興計画にも含まれている。
〈長谷川委員〉津波の河川遡上対策が気になるが、いつ頃、都市マスタープランは実行に移せるのか。
→神奈川県が最近検討を始めたところで、すぐに実行はできない。
- (2) 第2回地区集会の振り返りについて
地区集会の議事録・参加者アンケートをもとに、振り返りを行った。
〈波多委員〉学校開放等について、ボランティアの積極的な参加を望む。人材・情報バンクセンターを活用できれば。また、出席者の方から「非常に有意義だったので、毎年行いたい」とのご意見があった。
〈長谷川委員〉地区集会に参加していて気になったのは、「誰か（高齢者）に子どもを見守ってほしい」というように、保護者が子育てを他人任せにしてはいないか、ということ。
〈吉見委員〉現役世代が関わることで子ども達を見守る環境を作る上で大切。
- (3) まちづくり通信第24号について
青少年健全育成部会が確認した現行案を委員全員で確認した。片瀬小学校アンケート結果を入れ込んだものを作成し、地域広報部会に諮った後、12月1日（木）の役員会で最終チェックを行う。
〈犬山委員〉地区集会の際の、市長への意見・提案についてはどのように扱われるのか。

→企画政策課から必要に応じて情報提供がされる。

〈徳江委員〉今回の地区集会について、まちづくり協議会としての見解を乗せる必要はあるか。

→〈犬山委員〉今から協議会の見解をまとめるのは難しい。別な機会で行うまちづくり通信に掲載するというのではどうか。

〈吉見・石倉委員〉参加者アンケートについて、シニア世代が見守りを行う、というのが冒頭に来ており、決定事項のような印象を与えてしまう。吉見委員が逆の意見を作成する。

(4) 今後の地区集会について

平成28～29年度事務スケジュール調整表を確認しながら、11月1日(火)の役員会で、今年度3回目の地区集会は行わない方がよい、という方針を確認したため、全体会で諮ったところ、承認が得られた。

(5) その他

忘年会(12/16 全体会終了後)について案内した。

5. その他

(1) 当面の日程

公民館活用部会	11月21日(月)	10:00～12:00	市民センター相談室
第9回役員会	12月1日(木)	18:30～20:30	市民センター第2談話室
第9回全体会	12月16日(金)	<u>14:30～16:30</u>	市民センター第1談話室
忘年会	12月16日(金)	17:45～20:00	KKR江ノ島ニュー向洋
公民館活用部会	12月19日(月)	10:00～12:00	市民センター相談室
環境WG	1月16日(月)	15:00～17:00	市民センター相談室

6. 閉会

以 上

平成 28 年第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2016 年 12 月 16 日（金）

午後 2 時 30 分から 4 時 15 分まで

片瀬市民センター第 1 談話室

《出席者》 委 員 16 人（現在数 24 人）

欠席 8 人（犬山委員，村越委員，岩田委員，石倉委員，川嶋委員，
福島委員，常泉委員，島田委員）

事務局 6 人

傍 聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 第 8 回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（11/18，12/5 回覧分）
4. 地域特性を活かした「支えあいのまち」づくり
5. 協議会平成 28 年度スケジュール（12 月～3 月）
6. 協議会平成 29 年度スケジュール

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成 28 年度第 8 回全体会（11／14）について
①議事録を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
①ボランティアセンター運営委員会，青少年健全育成部会，公民館活用部会，
まちづくり推進部会，の報告を行った。
〈青少年〉小学校の開放について，バットの使用は禁止すべき（田中委員）
〈公民館〉しおさいセンターのバリアフリーについて，防災の観点（車いすに
よる避難等）も盛り込んでほしい（長谷川委員）
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告
①なし
- （4）各地域団体等からの報告（トピック）
①スポーツの会について，2 月 18 日（土）にしおさいで卓球大会を行う。

②支援フォーラムについて、12月21日（水）に平和教育講演会でホスピタルクラウンを講師に招いて講演会を行う。

③民生委員・児童委員について、12月1日に新任委員に交代されたことを報告した。

（5）その他

①特記事項無し

4. 議題

（1） 藤沢型地域包括ケアシステムについて【福祉総務課】

今後推進していくシステムの概要について福祉総務課から説明された。1月24日の全体会で小野市長や関係部長と共に意見交換に伺う予定である。

→意見交換については事務局と未調整であったため、未定。

〈岡田委員〉地域ごとの評価制度が必要と感じる。

→取り組みごとの善し悪しが分かるので、評価制度は良い考えと思う。

〈波多委員〉まちづくり協議会に対して説明をするのはなぜ。

→課の方針で決めた。

〈波多委員〉障がい者、低年齢の子どものサポートが入っているようにしている。

→そのとおり、既存の制度は高齢者向けであるが、これからは全ての人にスポットを当てていく。

〈波多委員〉地域ごとに性質が異なるので、そこに気をつけて取り組んで。

〈吉見委員〉このシステムが制度化されたら、諸々の手続きは市民センターから包括に移るのか。

→現在は違うが、これからはまとめていく必要があると検討している。

（2） 今年度総括及び来年度計画について

・今年度総括について

→1月末をめどに部会ごとに総括の素案を作成する。2、3月の役員会・全体会で素案を確認し、3月に事業報告書を作成し、まちづくり通信第25号を広報4月5日号で配布する、という方針を確認した。

・来年度計画について

→事務局で作成したスケジュールを確認し、意見があれば事務局に申し出る。

→第1回地区集会のテーマについて、オリンピックや郷土魅力等の案もあがっているが、片瀬山幼稚園の跡地活用をテーマにする方針を確認した。次回以降の全体会・役員会で掘り下げていく。

（3） しおさいセンターふれあいルームの状況について

11月にセキュリティ工事を行ったことの説明と、12月から試験運用を行っている旨を事務局から報告した。問題が無ければ1月中旬から通常の状態に戻す計画である。

(4) その他

特記事項無し。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

公民館活用部会	12月19日(月)10:00~12:00	市民センター相談室
ボラセン大掃除	12月23日(金・祝)9:00~12:00	ボランティアセンター
第10回役員会	1月12日(木)18:30~20:30	市民センター第2談話室
公民館活用部会	1月16日(月)10:00~12:00	市民センター相談室
環境WG	1月16日(月)15:00~17:00	市民センター相談室
青少年健全育成	1月17日(火)19:00~21:00	市民センター第2談話室
第10回全体会	1月24日(金)18:30~20:30	市民センター第1談話室

6. 閉会

全体会終了後、ニュー向洋にて忘年会を開催した。

以 上

平成28年第10回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2017年1月24日（火）

午後6時30分から8時30分まで

片瀬市民センター第1談話室

《出席者》

- ・ 委 員 20人（現在数24人）
欠席4人（岩田委員，常泉委員，依藤委員，中川委員）
- ・ 事務局 7人
- ・ 藤沢市 7人 ※議題1に限る
（小野副市長，片山福祉部長，平井福祉部参事，村井子ども青少年部参事
福祉総務課 齋藤課長補佐・曾我部職員，子育て企画課 川口主幹）
- ・ 藤沢市社会福祉協議会 2人 ※議題1に限る
（倉持常務理事，伊藤職員）
- ・ 傍 聴 0人

《当日資料一覧》

1. 第9回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（12/20，1/5，1/20 回覧分）
4. 地域特性を活かした「支えあいのまち」づくり
5. 藤沢市と地区の人口動向
6. “藤沢型”地域包括ケアの3つの基本理念
7. 藤沢型地域包括ケアシステムに向けたシンポジウム〈第5弾〉
※資料4～7は福祉総務課資料
8. 平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集
9. 協議会平成29年度スケジュール
10. 協議会平成29年度会議日程表（案）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成28年度第9回全体会（12／16）について

①議事録を配布し、全体会の内容について振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

①人材・情報バンクセンター（JJBC）運営委員会、青少年健全育成部会、公民館活用部会の報告を行った。

〈JJBC〉現在、JJBCの平成29年度業務計画策定を目標に、今後のJJBCあるいはコーディネーターの業務内容・あり方を含めてワーキングの形式で集中的に議論を行っている。また、ワーキングを踏まえ「らぶらぶ片瀬」冬号については2月発行予定であったが延期し、4月になってから発行する予定である（犬山委員）

〈青少年〉公園のルール作りに関連して、ハード面の整備については、市役所側から打ち合わせに参加する等、能動的に関わってきてほしい（石倉委員）

市役所に求めるだけでなく、必要なことは部会から働きかけていくことが大切（波多委員）

公園や緑の広場でボール遊び・球技等をするときは指導者がついていないと難しい（田中委員）→次回の部会から田中委員も加わることになった。

〈公民館〉公民館内のバリアフリー調査を行った結果、やはり1階におむつ交換ができる場所がほしいと感じた（田村委員）

部会員が少なく、部会の運営が危ぶまれるので、もう少し多くの人に部会に入ってもらいたいと思う（田村委員）

〈郷土文化〉2月26日に漁港で片瀬こま大会を行うので、参加希望の方はぜひ（犬山委員）

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

①環境ワーキングについて、ワンにゃんガイドを作成した。今年度をもってワーキングの活動を終了する（村越委員）

(4) 各地域団体等からの報告（トピック）

①特記事項無し

(5) その他

①特記事項無し

4. 議題

(1) 藤沢型地域包括ケアシステムに関する小野副市長との意見交換について

・片山福祉部長から“藤沢型”の基本理念（全世代対象）について説明があり、12月の全体会で福祉総務課が行った説明を受けて、意見交換に入った。

〈小野副市長〉片瀬は高齢化率も高く、一つのモデルケースになるのでは無いかと思っています

- る。現時点では総花的なところもあるが、ぜひ、日常の困りごとについて、このシステムではどのように対処されるか、といった具体のお話しができればしたい。
- 〈畠山委員〉自治連では社協からの要請を受けて、介護や老後の困りごとについてアンケート調査を行った。例えば江の島だと昼間に住民が島外に出るといった地域離れが起きている。弁天会では交通の不便もあり、問題が起きると大変といったことがある。
- 〈杉山委員〉自治町内会の中でも、役員同士の顔が見えないといった課題がある。
- 〈田村委員〉顔合わせを行うことで自治会と社協のメンバーが知り合いになれた。一方、マンションの住民は顔が見えないので、懸案である。小地域ケア会議で幅広い団体との意見交換を行うことは有用であると思う。
- 〈小野副市長〉市社協に伺いたいですが、このようなご意見をを受けて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）はどのように片瀬と関わられるだろうか。
- 〈倉持常務理事〉具体にお答えすることは現時点では難しいが、そのような地域の困りごとに対して、地域の人・団体と関わり、問題解決につなげていくことが CSW の仕事である。
- 〈徳江委員〉CSW は特別な資格？
- 〈倉持常務理事〉資格ではない。複合的な課題に対応できるベテランの福祉職員が従事する。なるべく早く 13 地区に配置したい。
- 〈徳江委員〉既に市内にモデル地区（鵜沼・六会・湘南大庭）を配置しているようだが、片瀬のイメージはどの地区に近いかな。
- 〈倉持常務理事〉13 地区ごとの実情に応じたシステムになるので、どこが近いかというものはない。
- 〈岡田委員〉もし例えば、難病の方の場合、個人のプライバシーもあると思う。また、もし問題が生じた場合、責任は誰が取ることになるのか。
- 〈片山部長〉プライバシーには十分に配慮することになる。諸々の対応に関しては、病気の種類等、ケースバイケースの対応になると思う。
- 〈小野副市長〉病状の責任については CSW では負えないし、負う状況にはなりにくいと思う。個別のいくつもの事例を積み重ねてシステムが構築されていくことになる。システムが適切に運用されれば、今までできなかったことができるようになると思う。今後の進め方について、アドバイス等も含めてご意見をいただきたい。
- 〈長谷川委員〉今まさに困っていることとして、サポートを必要としている人は多い。CSW 一人では大変ではないだろうか。また、地域包括支援センターとの関わりはどうなるだろうか。
- 〈片山部長〉地域包括支援センターは高齢者の専門家になるので、独立した存在である。一方でシステムの中で関わりはある。
- 〈小野副市長〉非常に有意義な意見交換ができたと思う。本年の 4 月からシステムを推進させていくことになり、具体的な話ができるようになると思うので、その際はまたお話しをできるようにしたい。
- 〈徳江委員〉もしできたらモデル地区の事例発表を聞きたい。

〈片山部長〉ご希望があれば応じる。

〈小野副市長〉ロードマップ等具体的な形を示していきたい。

以上で意見交換が終了した。

(2) 今年度総括及び来年度計画について

- ・今年度総括について

- 今年度の活動報告集について平成 27 年度と同じ要領で作成することを確認した。

- ・来年度計画について

- 平成 29 年度の第 2 回地区集会で小学生の居場所についてテーマに取り上げる予定のようだが、今年度の地区集会であがった意見についても、ようやく部会で方針が定まったところなので、テーマとして取り扱うのは難しいのでは（長坂委員）

- あくまでの現行のテーマ案なので、そのあたりは流動的に捉えておいて良いと思う（長谷川委員）

(3) しおさいセンターふれあいルームの状況について

1 月 17 日から通常の夜間開放を始めていることを事務局から報告した。

(4) その他

- ・平成 29 年度団体選出委員の確認について

- 選出母体となっている団体側の役員などの改選に伴い、団体からの本協議会への選出委員に変更が生じる可能性がある場合には、事務局への連絡を要請した。

- ・郷土魅力WGの日程調整について

- 事務局から第 1 回目のWG開催日程の調整がなされ、日程確定後、改めて該当委員へは連絡することとした。

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

第 1 1 回役員会 2 月 2 日(木) 18:30～20:30 市民センター第 2 談話室

ボラセン運営委員会 2 月 13 日(月) 15:00～17:00 市民センター第 2 談話室

第 1 1 回全体会 2 月 13 日(月) 18:30～20:30 市民センター第 1 談話室

6. 閉会

以 上

平成28年第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2017年2月13日（月）

午後6時30分から8時15分まで

片瀬市民センター第1談話室

《出席者》

- ・ 委 員 17人（現在数24人）
欠席7人（岩田委員，吉見委員，依藤委員，中川委員，
福島委員，村越委員，阿井委員）
- ・ 事務局 7人
- ・ 藤沢市市民自治推進課 3人 ※議題1・2に限る
- ・ 傍 聴 0人

《当日資料一覧》

1. 第10回全体会議事録
2. 小野副市長と地域の方々との意見交換（要旨）（福祉総務課資料）
3. 部会議事録
4. チラシ（2/10回覧分）
5. 片瀬山市民の家の再整備について（市民自治推進課資料）
6. 第1回まちづくり地区集会 企画素案
7. 平成28年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集
8. 平成29年度計画事業一覧（案）・平成28年度事業一覧
9. まちづくり通信第25号（案）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成28年度第10回全体会（1／24）について
 - ①議事録・意見交換（要旨）を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
 - ①人材・情報バンクセンター（JJBC）運営委員会の報告を行った。
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告
 - ①郷土魅力継承等課題の第1回ワーキングについて，石倉座長から今回は事務局に報告を行ってほしい旨の発言があったため，報告を行った。ほか，以下からの発言を記す。
〈石倉委員〉平成29年度は片瀬地区が藤沢市に編入されて70年になるが，編入当時の

話を地域の方から伺えたらおもしろいと思う。村岡や六会も数年前に編入70周年を迎えたが、何かイベントを行っていたか事務局に調べてほしい。

〈長坂委員〉70周年という点では、片瀬中学校も70周年になる。

〈犬山委員〉ページントに取り組む旨の記載があるが、それは郷土文化推進部会で行っていたはずである。もし実施するのであれば、部会とのすりあわせを行ってほしい。

〈畠山委員〉以前、ページントについて調べたら莫大な予算がかかることから、部会としては断念した経緯がある。

〈石倉委員〉このワーキングは能動的に何かを行うためのものではなく、活動していく中で必要に応じて全体会であったり、各部会に相談する等の取り組みを行っていききたい。

(4) 各地域団体等からの報告（トピック）

①特記事項無し

(5) その他

①特記事項無し

4. 議題

(1) 平成29年度第1回地区集会の企画について

- ・市民自治推進課から「片瀬山市民の家の再整備について」説明を行い、地区集会の企画について検討した。市民自治推進課の説明要旨を以下に記す。

- 今年度末をもって片瀬山幼稚園が閉園となり、藤沢市が跡地を取得し、新しい片瀬山市民の家を再整備する。

- 再整備にあたって、市民主体の検討会議を設置し、様々な世代が参加するワークショップを開催し、基本構想や実施設計を進めていきたい。

- 新しい片瀬山市民の家がオープンするのは最短で平成34年4月の予定だが、財政状況により遅れる可能性もある。

- ワークショップで挙がった意見はできる限り尊重するが、全て反映できるかはお約束できない。

- 新しい家が建つまで約5年間は更地の状態になるが、その利活用についても検討が必要と考える。

- 市民の家については後継者不足等、担い手がいけないことが懸念される。

- ・説明終了後、質疑応答及び意見交換を行った。

〈石倉委員〉片瀬山市民の家は片瀬山の自治会のための施設になるのか？

→片瀬山に限らず、地域全体の家になる。

〈犬山委員〉検討会議のメンバーは地区内に限定しなくてもいいのでは。

→そのように思う。

〈犬山委員〉委員の三分の一を女性にする、とあるが、実際の利用者のことを考えると、三分の一「以上」とした方が良いのでは。

→そのようにしたい。

〈犬山委員〉平成34年度完成なのだから、完成後10～20年後も使う人を委員に入れ

てほしい。

→そういった意味合いで考えている。

〈波多委員〉利活用というのが良く出てくるが、どういう意味なのか。

→建物を建てる（ハード面）だけでなく、ソフト面（利活用）を考えることが重要、という意味。

〈石倉委員〉更地の活用をどうするのか。検討会議で扱って良いテーマか。

→そこは検討段階である。

〈石倉委員〉例えば、ボール遊びができる広場にするとか。

→その辺も委員会の検討事項である。

〈長谷川委員〉いつ頃委員会を立ち上げるのか。また、地区集会での意見のすりあわせはどのように行っていくのか。

→29年度のなるべく早い時期に立ち上げたい。いきなり多世代型ワークショップは難しいかもしれない。具体的なスケジュールはセンターと相談したい。

〈波多委員〉片瀬山以外の方がどのように市民の家を使っているのか。

→片瀬山市民の家については、片瀬山の方がメインで使っている。

〈波多委員〉片瀬山以外の人を委員に入れるのは良いかと思うが、施設の性格を考えると、それは意味のあることなのだろうか。

→広い視点で考えると、そうすることが将来に生きてくると思う。

〈島田委員〉私も片瀬山市民の家は遠い。最終的には片瀬山の方が決める方が良いのでは。また、多世代型というのはコンセプトとしては良いが、最初に目的を絞った方が良いと思う。

〈杉山委員〉ボラセンのように最初は高齢者向けのものでも、最終的に多世代型の形になれば良いのでは。

→実情に併せる中で、ワークショップで話し合いながら一つの方向性を採れば良いと思っている。

〈犬山委員〉他地域の地域拠点を勉強しながらワークショップを進めてはどうか。

〈岡田委員〉予算については？

→だいたい6千万円くらいではないか。委員会の意見については、予算が議会の承認事項になるので確約はできないが、最大限反映していく。

ここまでの質疑応答、意見交換を受けて、地区集会の企画案を練った。講義形式・ワークショップ形式のいずれかで行う。

〈犬山委員〉意見が出てくるか分からないが、世代を分けてのワークショップ形式が良い。

〈川嶋委員〉市民の家については建て替えが前提か。予算の問題があるのなら、そもそも立て替えないという選択肢があるのでは。個人的には、片瀬に対する知識不足のこともあり、講義形式だと発言しづらいが、ワークショップ形式の方がしゃべりやすいと思う。

→（市民自治推進課）市民の家は建て替える前提で決まっている。

〈常泉委員〉船橋に多世代型の施設があるので、市民自治の方にはぜひ見学していただきたい。

地区集会での形式は3月の全体会で確定することとした。なお、広報4月10日号で地区集会の開催案内を全戸配布する。

(2) 今年度総括及び来年度計画について

- ・今年度総括について

→今年度の活動報告集について、現状の資料を提示した。

- ・来年度計画について

→今年度の事業一覧と比較し、来年度の計画について変更点を説明した。

〈徳江委員〉バリアフリーの推進課題について、まちづくり推進部会で湘南モノレールのバリアフリー対策について検討していたと思う。実際に湘南江の島駅のバリアフリー化計画が公表されているのだから、まちづくり推進部会で湘南モノレール側に説明を求めても良いのでは。

→事務局で確認する。

(3) まちづくり通信第25号について

- ・現在作成中の原稿を委員が確認した。詳細は全体会後の地域広報部会で検討する。

(4) その他

- ・特記事項無し

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

青少年健全育成部会	2月28日(火)	19:00~21:00	市民センター第2談話室
第12回役員会	3月9日(木)	18:30~20:30	市民センター第2談話室
公民館活用部会	3月13日(月)	10:00~12:00	市民センター相談室
ボラセン運営委員会	3月14日(火)	15:00~17:00	市民センター第2談話室
ボラセン従事者交流会	3月21日(火)	11:00~14:00	市民センターホール
第12回全体会	3月21日(火)	18:30~20:30	市民センター第1談話室

6. 閉会

以 上

平成28年第12回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2017年3月21日（火）

午後6時30分から8時15分まで

片瀬市民センター第1談話室

《出席者》

- ・委員 18人（現在数24人）
欠席6人（田村委員，畠山委員，波多委員，依藤委員，常泉委員，中川委員）
- ・事務局 7人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 第11回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（2/25，3/10，3/25 回覧分）
4. 第1回地区集会 企画案
5. 第1回地区集会 進行表・会場図
6. 第1回地区集会 周知チラシ
7. 平成29年度まちづくり活動計画（案）
8. まちづくり通信第25号（案）
9. まちづくり通信第26号（案）
10. 協議会と理事者との意見交換次第
11. 協議会と理事者との意見交換会スケジュール

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成28年度第11回全体会（2／13）について
 - ①議事録・意見交換（要旨）を配布し，全体会の内容について振り返りを行った。
- （2）各部会からの報告
 - ①人材・情報バンクセンター（JJBC）運営委員会，ボランティアセンター運営委員会，青少年健全育成部会，公民館活用部会，地域広報部会の報告を行った。
- （3）各課題別検討ワーキングからの報告
 - ①郷土魅力継承等課題の第2回ワーキングについて，石倉座長から報告を行った。
- （4）各地域団体等からの報告（トピック）

- ①スポーツの会から、4月29日（土・祝）にソフトボール大会を片瀬中学校で開催することが報告された。
- ②生活環境協議会から、4月15日（土）にクリーン活動を開催することが報告された。
- (5) その他
 - ①特記事項無し

4. 議題

- (1) 平成29年度第1回地区集会の企画について
 - ①企画案を提示し、「片瀬山幼稚園跡地の利活用について」は役員会で確認したとおり、講義形式で行うことを確認した。
 - ②役割分担について、総合司会・活動計画ナレーションは徳江副会長、受付・資料配付は杉山・田村両副会長で行うことを確認した。
 - ③地区集会全体の進行について確認した。
 - ④チラシ（4/20）の内容を確認し、4/6の役員会で最終確認することとした。
- (2) 今年度総括及び来年度計画について
 - ①今年度総括について、事務局から、実績数値等については3月末の数字に修正することを伝えた。
 - ②来年度計画について、事務局から資料を提示し、確認した。
- (3) まちづくり通信第25・26号について
 - ①第25号について、一部写真の差し替えがあることを説明した。
 - ②第26号について、現在の案を提示して確認した。4月の全体会で最終確認とする。
- (4) 平成29年度郷土づくり推進会議と理事者との意見交換について
 - ①4/21の全体会で実施されることを報告し、確認した。オリ・パラのことについて意見交換を行う。
 - 《徳江委員》市民ボランティアを募ることは分かるのだが、住民としては江の島大橋や片瀬江ノ島駅の整備の方が気になるのでは。
 - 《長谷川委員》住民として気になる話題が他にもあると思う。
 - 《金子（事務局）》地域の意見について、伝えられるものは伝えていきたい。
 - 《犬山委員》オリ・パラまでのロードマップ（いつ・何が）について知りたい。松崎室長の説明に追加してほしい。
 - 《長谷川委員》市からは、オリ・パラに向けての課題を挙げてほしい。
 - 《金子（事務局）》議会で提示した資料等、説明に使えるものはあると思うので、提供できるかは問い合わせたい。
 - 《長坂委員》住民にとって日常生活に不安を感じているので、当日はそういったところを聞いてほしい。
 - 《徳江委員》何も決まっていない段階で意見交換を行おうとしている印象がある。もう少し落ち着いた段階で意見交換を行う方が良いのではないか。
 - 《金子（事務局）》ある程度提示できる資料等は出していきたい。

《岡田委員》ボランティア募集は始まったばかりと聞いている。

《島田委員》まだ、一自治体が独自に動ける段階ではないのではないかと思います。

(5) その他

5. その他

(1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

第1回役員会 4月 6日(水) 18:30~20:30 市民センター第2談話室

第2回全体会 4月21日(金) 14:30~16:30 市民センター第1談話室

歓送迎会 同日 17:45~20:00 ニュー向洋

(2) 事務局から、地域拠点からの土木職の引き上げについて説明を行った。

6. 閉会

以 上